

introduction

刊行にあたって

超高齢社会に突入したわが国では、国民の寿命とともに残存歯数も伸びています。しかしながら、その残存歯だけで噛んで食べられる方はそれほど多くなく、デンチャーやインプラントなどによるサポートを受けている場合も少なくありません。そして、高齢者人口の増加とともに、デンチャーの使用者が今後も増え続けることは想像に難くありません。

そのように患者さんの口腔内で機能しているデンチャーが長期間不自由なく活用されるには、適切な管理が欠かせません。そのためには、歯科衛生士をはじめとする歯科医療従事者が適切なメンテナンス方法を患者さんに伝え、指導していくことが望めます。ところが、指導側の歯科衛生士がデンチャーについて学ぶ機会はあまりなく、正しいメンテナンス方法はおろか、デンチャーそのものの知識に不安を抱く方も少なくないのが現実のようです。

そこで、歯科衛生士がメンテナンスにかかわるパーシャルデンチャーやフルデンチャーが、臨床現場でどのような手順で製作され、機能しているのかという基本から、患者さんがよく用いている義歯安定剤や義歯洗浄剤などに関する注意事項などを、1項目2頁を中心にQ&A形式でわかりやすく学ぶ本書を企画しました。

本書では、1章でパーシャルデンチャー、2章でフルデンチャーを取り上げ、それぞれの冒頭におおまかな章の解説として“アウトライン”を設け、全体のイメージを掴んだうえで具体的な各論へとスムーズに入れるように工夫しています。3章では、メンテナンスと訪問歯科診療において知っておきたいデンチャーに関する知識を盛り込んでいます。本書をお読みいただくことで、自らの知識とするだけでなく、患者さんからの質問に慌てずに回答するための一助としても活用いただける構成になっています。

超高齢社会の“いまこそ”知りたい、デンチャーの重要性を感じているからこそ“そろそろ”知りたいとお考えの歯科衛生士の皆様に本書を活用いただき、多くの患者さんの笑顔に繋がれば望外の喜びです。

2016年8月
DHstyle 編集部